

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	暮らしを守る消防隊活動推進事業			会計	款	項目	大	小
				01	09	01	01	11
政策	02	2節	生活の豊かさを実感できる流山（生活環境の整備）	主管課	中央消防署			
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	清水 彰			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	高齢者世帯を中心とした市内在住者。	意図	流山市が住み良い地域になるため、小災害に対する確かな措置を講じる。
事業内容	蜂の巣の駆除、小動物の保護及び捕獲、高齢者世帯の住宅用火災警報器の措置、家具の移動等。			
事業開始から現在までの状況変化	高齢者世帯を中心とした市民に対し、生活に関わる小災害に迅速かつ的確に措置を講じ、福祉の増進に寄与することを目的に、平成4年4月1日に発足した。近年は、新市街地の開発と共に都市化が進み、蜂の巣の駆除要請を中心とした多種多様な要請内容に対応している。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標	① 暮らしを守る消防隊出場件数	531	415	142	件	↓↓↓	
	② 蜂の巣の駆除件数	454	353	88	件	↓↓↓	
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果	目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）						
事務事業のコスト		平成25年度	平成26年度	平成27年度	福祉消防の推進を図る目的で市民生活に支障となる事案に対して迅速に対応してきたが、蜂の巣の駆除要請が多く、本来の目的とはかけ離れてきており、蜂の巣の駆除業者を紹介するなど、アウトソーシングに努め、業務を縮小していきたい。		
事務事業の総コスト(a=b+c)		5,122,442	4,729,110	4,359,853			
事業費(b)(円)		1,758,442	1,365,110	995,853			
うち一般財源		1,758,442	1,365,110	995,853			
職員給与費(c)(円)		3,364,000	3,364,000	3,364,000			
人役・職員(人)							
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)		2.00	2.00	2.00			
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	C 必要性は低下すると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	C 民間企業やNPOが担うべき	効率性	対象者の適切性	C 対象が広すぎる
					コストの削減	B 削減の余地がややある
総合評価	VII 終了（事業を終了すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	蜂の巣の駆除は、業者を紹介するなど市民に対し理解を求めながら件数の削減に努める。	③取組の課題	事業廃止に向け、市民等への周知活動が速やかに図れるか。
②今年度(H27)に実施した取組	平成28年3月31日をもって廃止にするため、各課にメール配信また、広報ながれやま等の広報誌に、廃止後の蜂の巣駆除業者の案内を掲載した。	④今後の改善計画	平成28年3月31日をもって廃止。